

校訓

共生 敬愛 創造

<あいさつ>

校長 池田光治

開校9年目を迎え、地域と一体となって生徒達を育てる学校を目指します。地域復興・発展の中核を担う産業人材の育成に引き続き努めます。

また、県教育委員会の各種専門高校関連事業に取り組むことにより、工業科、商業科での3年間の学びを元に社会に大きく羽ばたくことができる人間の育成に努めます。

社会の持続的な発展を担う 学び続ける産業人の育成

I 学力の向上

① 個に応じた学力の向上

・一人ひとりの生徒の学習状況を適切に把握し、丁寧に指導することにより学習習慣の確立を図ります。
・教員のICT活用能力を活かして、日常的に端末を活用した授業を展開することで個に応じた学力の向上に取り組みます。

② 専門教育の充実

・高度な知識と技術が習得できるように関係機関と連携を図ります。特にアジア諸国との連携・交流を進めます。
・脱炭素社会の実現に向けた産業人材育成事業を通して地域に貢献できる人材を育成します。

II 豊かな 人間性の育成

① 豊かな心と健やかな体の育成

・特別活動や学校行事を通して、望ましい人間関係の構築や互いを思いやる心の醸成に努めます。
・体験的な学習活動を推進することにより、自己の在り方生き方を考え、よりよく課題を解決していく力の育成を図ります。
・生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための健康教育を推進します。

② 教育相談体制の整備

・教育相談部を中核として、多様化する課題に組織的に対応できる体制づくりに努めます。

III 進路希望の 実現

① キャリア教育の推進

・進路ガイダンス、校内企業説明会、大学・企業見学等を通して進路意識の向上を図ります。
・インターンシップや外部講師講演を実施し、職業現場における実際的な知識や技術・技能に触れさせることにより、望ましい勤労観・職業観を身につけさせます。

② 個に応じた進路指導の充実

・自己理解の深化や表現力の育成を図り、的確な進路選択・実現ができるように支援します。
・各種調査や面談等を通して、生徒一人ひとりの状況を把握し、適切な進路指導を行います。

IV 開かれた 学校づくり

① 保護者・地域との連携・協力

・家庭との連携を密にするとともに、地域を学習の場とし、地域社会と協力した教育活動を実践します。

② 情報の発信

・ホームページ、教育委員会noteに近況を掲載するとともに、メール配信システム等により学校活動を広報します。

<https://odakasangyogijutsu-h.fcs.ed.jp>